

## 実践桜会行事日程

### 平成 23 年

- 5/21 (土) 定時総会・協力団体懇談会  
(セルリアンタワー東急ホテル)
- 6/18 (土) 実践キャリアネット総会  
8/7 (日)～8/16 (火)  
桜会会館夏季休館
- 9/3 (土) 地区懇談会(郡山)  
9/16 (金) 親睦会(折り紙教室など)
- 10/1 (土) 「なよたけ情報版」NO.17発行  
10/1 (土) 秋季委員会(桜会会館2F)
- 10/8 (土) 学祖祭
- 10/15 (土) 在学生支援「ようこそ先輩ようこそ後輩」実践キャリアネット
- 10/29 (土)～10/30 (日)  
実践桜会バザー開催(中高ときわ祭)
- 10/30 (日) ホームカミングデー(中高渋谷校舎)
- 11/12 (土)～11/13 (日)  
大学・短大常磐祭
- 11/12 (土) ホームカミングデー(日野校舎)
- 11/19 (土) キャリアネットセミナー第1回
- 12/3 (土) 臨時総会(中高渋谷校舎)
- 12/25 (日)～1/6 (金)  
桜会会館冬季休館

### 平成 24 年

- 1/9 (月) 初春歌舞伎観劇会(国立劇場)
- 2/18 (土) キャリアネットセミナー第2回
- 4/1 (日) 「那与竹」第75号発行
- 5/13 (日) 定時総会・懇親会・協力団体懇談会  
(セルリアンタワー東急ホテル)



鎌倉 報国寺の竹林

## 目次

実践桜会行事日程	表紙
平成 23 年度実践桜会定時総会報告	P 2
新会館の紹介、臨時総会のお知らせ	P 2
特別掲載 被災支部だより	P 3
平成 22 年度事業報告	P 4
財務報告	P 5
協力団体 支部だより	P 6～9
協力団体 科会だより	P 10
特集 向田邦子さん没後 30 年に寄せて NHK 出版 一井久司さん	P 11
講演会 下田歌子先生を顕彰する 第 3 回 大関啓子文学部教授	P 12
実践桜会国際交流基金奨学生	P 13
本部だより	P 14
「実践キャリアネット」からのお知らせ	P 14
学園だより	P 15
同窓生は今 弁護士 秋田瑞枝さん	P 15
告知板	P 16



新桜会会館の建設現場  
(8月27日現在)

新桜会会館イメージ図



中高体育館から見た新桜会会館



正面玄関(後ろの白い建物は中高の体育館)

# 平成 23 年度実践桜会定時総会報告

平成 23 年度定時総会が 5 月 21 日(土)セルリアンタワー東急ホテルにて開催されました。正会員 7,242 名、出席者数 156 名、委任状総数 3,475 通で、定足数を満たしましたので定款第 17 条により、総会は成立。右記議題が審議承認されました。総会終了後「実践女子学園同窓会創設 110 周年記念祝賀会」が開催されました。



定時総会での  
理事長の挨拶

同窓会創設  
110 周年祝賀会

- 【議題】**
1. 平成 22 年度事業報告
  2. 平成 22 年度収支決算及び財産目録承認の件
  3. 監査報告
  4. 平成 23 年度事業計画及び予算の件
  5. 新公益法人制度に関する件
  6. 新会館建設に関する件
  7. その他



## 新会館の紹介

一般社団法人 教育文化振興実践桜会

理事長 鍛島 康子

すでにご案内のとおり、実践女子学園創立 120 周年記念整備事業 1 期渋谷校地整備計画に合わせて、本会は活動の拠点である会館を新築・移転することになりました。

新会館は、学園から渋谷校地内に新たに土地を無償でお借りして、現会館とほぼ同じ延床面積約 409㎡、渋谷校地の西側(渋谷駅寄り)の位置になり、土地の高低差を生かした鉄筋コンクリート造り 2 階建てです。敷地面積は現在より広くなります。工事は 7 月から始まり、12 月末に完成する予定です。建物の概要は、道路から入ったところは 2 階で事務室があり、その奥に会議室が 2 つあります(下図参照)。入口からまっすぐ階段またはエレベーターで下に降りると、広々とした中集会室があり、これは 3 つに区切って使用することができます。その奥に小集会室があります。

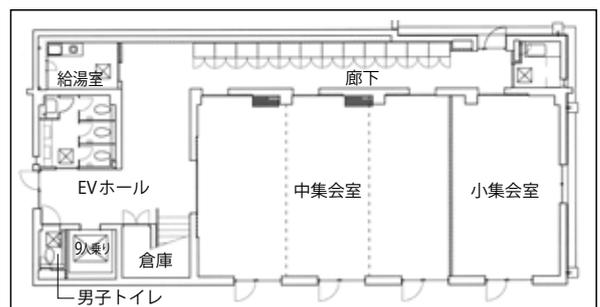
このたびの会館新築・移転に際し、学園から外構工事、

現会館の解体撤去工事などの費用に多くの支援をいただきました。学園は「渋谷キャンパス」に大学と短期大学の一部を移転して開学する計画です。渋谷のキャンパスは現在、中学・高校の学生が学んでいます。大学の移転に伴って周囲の大学とも劣らぬ存在となり、当会の活動に活気が溢れるのを期待したいと思います。また、支部の方々も大いに利用してください。

新会館案内図



新会館 2 階平面図



1 階平面図

## 平成 23 年度 臨時総会のお知らせ

日時：12 月 3 日(土)午後 1 時～4 時

会場：実践女子学園中学校舎  
第 3 館 5 階会議室

- 議題
- ①平成 23 年度収支補正予算案
  - ②平成 24 年度事業計画・収支予算案
  - ③その他

※出席者は 11 月 19 日までに事務局にお知らせください。

欠席の方は必ず同封の委任状をご返送下さい。(FAX 不可)

総会后、講演会を開催いたします。

講師：大井三代子氏(実践女子大学図書館司書)

テーマ：「下田歌子先生を顕彰する」

—<sup>きぼう</sup>葵卯園遊会活人画について—

3月11日の東日本大震災では東北・関東の多くの県が被害を受けました。なかでも岩手・宮城・福島の被害は甚大で計り知れない規模です。しかし、あの日から半年が過ぎ、復興の兆しも見え始めています。私ども、実践桜会も微力ながら出来るだけの支援をして同窓生や被災地の皆様のお役に立ちたいと思います。

## 東日本大震災に対するお見舞い

一般社団法人教育文化振興実践桜会 理事長 鍛島 康子

このたびの東日本大震災では、被災に遭われた東北6県支部と茨城支部に在住の方々に対し、心からお見舞い申し上げます。「那与竹」74号の配達が困難になったことは大変残念です。当会では、実践桜会奨学基金の特別枠として、被災学生に30万円を平成23年度定時総会で拠出することを決定して、総会後の祝賀会で大学・短期大学の湯浅学長に目録を贈呈し、また、被災7支部へはお見舞金を差し上げました。(写真)



### 岩手県人の気質で「逞しく辛抱強く」

#### 岩手支部 清水キミ子 (昭41大被卒)

この度の東日本大震災に対し、学園関係者の皆様方並びに桜会より丁寧なお見舞いと温かいお励ましを戴きましたことを心より厚く御礼申し上げます。あの日から3ヶ月が経ちました。当時、北東北はまだ寒気が厳しく降雪の日もあって、余震を警戒しながらの生活が続きました。連日の報道で被災地の惨状はご承知の通りですが、余りにも被害が甚大すぎて未だに言葉を失っています。

岩手支部では被災地在住の会員宛にお見舞いと安否確認の葉書を投函致しました。徐々に無事生存の知らせが届いた時には、ほっとしました。しかし、とても残念なことに昭57大被卒の三浦昌子様が犠牲に遭われておりました。また、無事だった方の中には、家族を失われた方もおられました。何とも痛ましい限りです。「逞しく辛抱強い」岩手県人の気質が、これから生き抜く原動力になると思います。そして長い年月を要しながらも、必ずや「新しい郷土」を築き上げるに違いありません。尚、本年度の支部総会は中止と致しました。来年の創設30周年に向けて、新たに取



り組み始めたいと思います。結びにこれからも復旧・復興のため、引き続きご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

### 東日本大震災のひとつの場面

#### 宮城支部 渡辺恭子 (昭39大國卒)

3月11日地震直後宮城県塩釜市は空襲警報の様なサイレンが鳴り、大津波警報が有り「津波の高さは10mと予想されます。すぐ高台へ避難して下さい」と全市に放送が鳴り亘りました。市民は一斉に塩釜神社境内へ続く坂道を上り始め、津波到着までの40分の間にはほとんどの人達が高台へ登り、津波が来るのを見つめました。海水がサーツと引いていき、来る波とぶつかった処で白い泡がまっすぐ

に一直線を描き、その後ろから牙をむいた津波が襲ってきました。10mの津波は、あの八百八島といわれる松島湾の島々が防波堤となり4mに収まりましたが、その高さは家々の玄関をとうに超えるもので、海底を根こそぎ持ってきた真っ黒なヘドロの水が街一面を壊滅させました。

そのさなか塩釜神社の祭典で1トンの重さの二神輿を乗せ松島湾を渡る鳳凰頭と龍頭の二隻の御座船は、他の船が流された最大の津波の中にびくとも動かず無傷で定場に残ったのは塩釜市民の何よりもの救いでその話題に沸いて



鳳凰頭の御座船

います。

神道の国日本は必ず立ち直ります。皆様どうぞ東北の復興へお力をお貸し下さい。

### 先の見えない放射能汚染に心を痛める毎日

#### 福島支部 大内友子 (昭45大被卒)

地鳴りがして、家が揺れ始めた時、家には義母と生まれて八ヶ月の孫と3人。3月11日のその日、薪ストーブが赤々と炎を上げ燃えているのを尻目に見ながら、赤ん坊を抱き抱えて玄関を出たり入ったりしていると、前の家の屋根瓦が雪崩のように目の前に落ち、粉々に砕け散りました。幸い怪我はなく、出先にいた家族が次々に家に戻り無事を確認しあいました。そして、停電、断水と数日間の不自由な生活が待っていました。

ところが、ラジオのニュースを耳にした時、その被害が想像を絶するものだという事がわかり、身震いする思いにかられました。

そして福島は原発災害も加わり、世界のフクシマになってしまいました。

目に見えない、そして、先の見えない放射能汚染に心を痛めている毎日です。

震災直後、全国各地の同窓生から「何か必要なものはないの?」「いつでもおいで」と声をかけて頂いた時は、涙が溢れました。

皆様のお心配り、お見舞いに感謝申し上げます。

# 平成22年度事業報告

## 【理事長】

- 1) 一般社団法人への移行申請
- 2) 建設委員会の開催

## 【総務部】

- 1) 通常総会、臨時総会、理事会12回、常任理事会12回、委員会2回
- 2) 飯塚幸子前学長叙勲記念講演会(7月10日)
- 3) 大学・短期大学後援会・実践桜会主催公開市民講座同地区支部との懇談会開催(9月11日)於：高崎
- 4) 学園創立110周年記念事業・講演会開催(10月2日)
- 5) 学祖祭：護国寺墓参及び渋谷校舎香雪記念室内祭壇参拝 桜会会館2階に祭壇設置参拝(10月8日)
- 6) 大学・短大「常磐祭」に参加(11月13・14日)
- 7) 各支部・各科系列主催の講演会・発表会等随時参加
- 8) その他学園等の懇親会行事に参加
- 9) 入学、卒業記念品贈呈  
(大学院・大学・短大・高校・中学)
- 10) 事務局運営

### 〈総務部一会員部〉

- 1) コンピューターによる会員サービス事業  
(名簿管理等)
- 2) 正会員増員の為の事業5カ年計画

### 〈総務部一会館管理部〉

- ・桜会会館 日野分室の点検整備・営繕
- ・桜会会館 1階クーラー補修(平成22年8月19日)
- ・桜会会館 貯水槽補修工事(平成23年2月22日)
- ・桜会会館 玄関・3階ガラス補修(平成23年3月25日)

## 【事業部】

- 1) 学園助成金贈呈(5月8日)
- 2) 実践桜会奨学基金給付：大学院・大学・短大・高校各1名計4名給付
- 3) 実践桜会国際交流基金給付：6名(奨学生交流会実施9月、3月)
- 4) 社会活動助成金支給：学園関係1団体、9支部、6科会、他1団体
- 5) 大学・短大「常磐祭」へ協賛金支給・桜会賞贈呈
- 6) 入学・卒業祝記念品発注  
入学時：「下田歌子先生小伝」、実践桜会しおり  
卒業時：「6ポケットホルダー」、実践桜会しおり

- 7) 結婚相談(第2,4土曜日)
- 8) ハーダンガー刺繍教室(毎月1回)  
囲碁教室(毎月2回)
- 9) 貸室業務
- 10) 実践桜会所蔵図書の貸出及び整備・購入

## 【文化部】

- 1) 実践桜会バザー開催(桜会会館・学園記念館ロビー)  
10月30日(土)～31日(日)
- 2) 歌舞伎観劇会開催(国立劇場)  
2011年1月10日(月・祝日)
- 3) 母校記念品販売

## 【広報部】

- 1) 「那与竹」第73号発行(4月1日)
- 2) 「なよたけ情報版」No.16発行(10月1日)
- 3) 実践桜会公式ホームページ管理・運営

## 【キャリアネット】

- 1) 運営委員会 毎月1回 開催
- 2) 総会と講演会(6月19日)「女性のキャリアデザインを考える—主婦が大学教授になるまで—」  
講師：産業能率大学教授 辻 三千代氏
- 3) セミナー開催  
11月 「私と仕事—ワークライフバランス—」  
講師：大和証券執行役員 齋藤 直子氏  
2月 「女性が起こす事業—企業から今日まで—」  
パネルディスカッション形式  
パネリスト：ブームプランニング社長 中村 泰子氏  
公文式塾経営 後藤 利子氏
- 4) 在校生就職支援相談会開催(10月16日)「ようこそ先輩、ようこそ後輩 “働く”を話そう！」
- 5) 卒業生のための就職・転職相談会開催(毎月第4土曜日)

## 平成22年度会館利用状況

月	件数	人数	月	件数	人数
4	35	277	10	35	276
5	32	266	11	34	338
6	44	404	12	20	153
7	31	251	1	26	219
8	14	212	2	33	241
9	37	288	3	27	185
				合計	368件 3,110名

# 財務報告

## 貸借対照表総括表

平成 23 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

科 目	一般会計	奨学基金	国際交流基金	内部取引消去	合 計
<b>I 資産の部</b>					
<b>1 流動資産</b>					
現金・預金等	11,486,349	3,052,312	3,023,359		17,562,020
未収入金	0	0	0		0
流動資産合計	11,486,349	3,052,312	3,023,359	0	17,562,020
<b>2 固定資産</b>					
(1) 基本財産					
減価償却資産	8,522,572	0	0		8,522,572
預金その他	27,966,601	13,150,000	60,000,000		101,116,601
基本財産合計	36,489,173	13,150,000	60,000,000	0	109,639,173
(2) 特定資産					
会館建設特定預金	93,937,825	0	0		93,937,825
会館修理特定預金	945,334	0	0		945,334
退職給付引当預金	904,568	0	0		904,568
特定資産合計	95,787,727	0	0	0	95,787,727
(3) その他の固定資産					
定期預金等	52,400,000	0	0		52,400,000
減価償却資産	2,359,852	0	0		2,359,852
建設仮勘定	6,062,175				6,062,175
その他固定資産合計	60,822,027	0	0	0	60,822,027
固定資産合計	193,098,927	13,150,000	60,000,000	0	266,248,927
資産合計	204,585,276	16,202,312	63,023,359	0	283,810,947
<b>II 負債の部</b>					
<b>1 流動負債</b>					
前 受 金	4,700,000	0	0		4,700,000
預 り 金	19,222	0	0		19,222
流動負債合計	4,719,222	0	0	0	4,719,222
<b>2 固定負債</b>					
入会予納金	52,400,000	0	0		52,400,000
退職給付引当金	904,568	0	0		904,568
固定負債合計	53,304,568	0	0	0	53,304,568
負債合計	58,023,790	0	0	0	58,023,790
<b>III 正味財産の部</b>					
<b>1 指定正味財産</b>	36,489,173	13,150,000	60,000,000		109,639,173
<b>2 一般正味財産</b>	110,072,313	3,052,312	3,023,359		116,147,984
正味財産合計	146,561,486	16,202,312	63,023,359	0	225,787,157
負債及び正味財産合計	204,585,276	16,202,312	63,023,359	0	283,810,947

## 正味財産増減計算書総括表

平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	一般会計	奨学基金	国際交流基金	内部取引消去	合 計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>					
<b>1 経常増減の部</b>					
(1) 経常収益					
①基本財産運用益	14,468	16,944	106,038		137,450
②受取入会金	13,190,000	0	0		13,190,000
③受取会費	14,852,000	0	0		14,852,000
④事業収益	4,717,561	1,000,000	2,000,000	△ 3,000,000	4,717,561
⑤受取寄付金	1,733,000	0	0		1,733,000
⑥雑収益	867,243	0	0		867,243
⑦指定正味財産からの振替額	888,821	0	0		888,821
経常収益計	36,263,093	1,016,944	2,106,038	△ 3,000,000	36,386,075
(2) 経常費用					
①事業費	20,011,347	1,200,000	2,273,560	△ 3,000,000	20,484,907
・教育文化事業費	10,322,741	1,200,000	2,273,560	△ 3,000,000	10,796,301
・会員関係事業費	9,688,606	0	0		9,688,606
②管理費	17,768,834	0	0		17,768,834
経常費用計	37,780,181	1,200,000	2,273,560	△ 3,000,000	38,253,741
当期経常増減額	△ 1,517,088	△ 183,056	△ 167,522	0	△ 1,867,666
<b>2 経常外増減の部</b>					
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,517,088	△ 183,056	△ 167,522	0	△ 1,867,666
一般正味財産期首残高	111,589,401	3,235,368	3,190,881	0	118,015,650
一般正味財産期末残高	110,072,313	3,052,312	3,023,359	0	116,147,984
<b>II 指定正味財産増減の部</b>					
①一般正味財産への振替額	888,821	0	0		888,821
当期指定正味財産増減額	△ 888,821	0	0	0	△ 888,821
指定正味財産期首残高	37,377,994	13,150,000	60,000,000	0	110,527,994
指定正味財産期末残高	36,489,173	13,150,000	60,000,000	0	109,639,173
<b>III 正味財産期末残高</b>	146,561,486	16,202,312	63,023,359	0	225,787,157

## 収支計算書総括表

平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	一般会計	奨学基金	国際交流基金	内部取引消去	合 計
<b>I 事業活動収支の部</b>					
<b>1 事業活動収入</b>					
(1) 基本財産運用収入	14,468	16,944	106,038		137,450
(2) 入会金収入	13,190,000	0	0		13,190,000
(3) 会費収入	14,852,000	0	0		14,852,000
(4) 事業収入	4,717,561	1,000,000	2,000,000	△ 3,000,000	4,717,561
(5) 寄付金収入	1,733,000	0	0		1,733,000
(6) その他収入	867,243	0	0		867,243
事業活動収入計	35,374,272	1,016,944	2,106,038	△ 3,000,000	35,497,254
<b>2 事業活動支出</b>					
事業費支出	20,011,347	1,200,000	2,273,560	△ 3,000,000	20,484,907
(1) 教育文化事業費支出	10,322,741	1,200,000	2,273,560	△ 3,000,000	10,796,301
(2) 会員関係事業費支出	9,688,606	0	0		9,688,606
管理費	17,114,322	0	0		17,114,322
事業活動支出計	37,125,669	1,200,000	2,273,560	△ 3,000,000	37,599,229
事業活動収支差額	△ 1,751,397	△ 183,056	△ 167,522	0	△ 2,101,975
<b>II 投資活動収支の部</b>					
<b>1 投資活動収入</b>	14,762,175	0	0		14,762,175
<b>2 投資活動支出</b>	6,352,175	0	0		6,352,175
投資活動収支差額	8,410,000	0	0	0	8,410,000
<b>III 財務活動収支の部</b>					
<b>1 財務活動収入</b>	0	0	0		0
<b>2 財務活動支出</b>	0	0	0		0
財務活動収支差額	0	0	0	0	0
<b>IV 予備費支出</b>	0				0
当期収支差額	6,658,603	△ 183,056	△ 167,522	0	6,308,025
前期繰越収支差額	326,872	3,235,368	3,190,881		6,753,121
次期繰越収支差額	6,985,475	3,052,312	3,023,359	0	13,061,146

## 平成 23 年度収支予算書総括表

平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	予算額
<b>I 一般正味財産増減の部</b>	
<b>1. 経常増減の部</b>	
(1) 経常収益	
基本財産運用益	280,000
受取入会金	13,700,000
受取会費	16,200,000
事業収益	6,000,000
受取寄付金	1,500,000
雑収益	850,000
経常収益計	38,530,000
(2) 経常費用	
事業費	31,550,000
管理費	14,700,000
経常費用計	46,250,000
当期経常増減額	△ 7,720,000
<b>2. 経常外増減の部</b>	
(1) 経常外収益	
経常外収益計	0
(2) 経常外費用	
経常外費用計	0
当期経常外増減額	0
当期一般正味財産増減額	△ 7,720,000

## 札幌支部 佐々木靖子(昭36大食卒)

### 社会貢献活動の一環として演奏会も

弦楽四重奏を聞いて元気を取り戻そう。3月11日東日本大震災で被災されました多くの方々に、心よりお悔やみと御見舞いを申し上げます。

日本中が大混乱の中、札幌支部会員の方々は幸いにも被害がなく、6月19日(日)に総会、親睦会及び社会活動として〈弦楽四重奏演奏会〉を開くことができました。今年も95歳の会員を筆頭に恒例の方々の出席を頂きました。

午後の弦楽四重奏は一般の方30名に参加いただき、古典曲、ポピュラー、シャンソン(歌 独唱)演歌迄会員の年齢層に合わせた選曲で、その他懐かしい唱歌等を全員で合唱しまして、本当に楽しい一時を過ごし気持ちもリラックス出来ました。「間近で聴く演奏会でとても感激しました」との感想をいただきました。



支部総会、弦楽四重奏演奏会にて

## 八戸支部 三浦佳子(昭32短生卒)

### 総会で支部のこれからの話し合う

八戸支部総会は、猛暑のおさまった9月12日にカワヨグリーンロッジで開かれました。

今回は他の行事と重なり、8名だけの集まりで、少し寂しかったのですが、桜会本部でのお話や、みちのく会のことなどを伝えることができました。

支部のこれからのことなど話し合いながら、レストランのフルコースをいただき、楽しく有意義な一時でした。



8人でなごやかに

## 秋田支部 支部長 境田幸子(昭48大被卒)

### 東日本大震災で心ざわつく日々

東日本大震災では、皆様から温かいお言葉を頂き、ありがとうございました。秋田県内は直接的な被害はなかったものの、心ざわつく日々が続いております。

支部総会を7月に予定しておりますが、それまでに、同じ東北地区としてできることがないかを考えて参りたいと思っております。

会員の減少の歯止めは当面の課題でもあります。が、なかなか手つかずで申し訳ない日々です。

## 山形支部 公平恵子(昭42大食卒)

### 山形舞子の伝統にふれた粋な総会

雨が静かに庭の木々を濡らしています。そして明治6年創業の料亭「四山桜」に三味線の音が響きます。

今年のテーマ「山形舞子の伝統にふれながら楽しく語り合う」に相応しい、ちょっと粋な支部総会でした。平成21年卒業の若い星も仲間入りし、先輩・後輩共々心の通い合う一時を過ごしました。

来年は〈天地人〉の舞台にもなった米沢地区が幹事を担当します。多くの参加者と入会者が増えることを期待します。



山形舞子さんと記念撮影

## 茨城支部 篠崎和子(昭38大食卒)

### 震災の影響で、総会は10月に順延

先日の定時総会では、東日本大震災で甚大な被害の茨城支部へ、真心のこもったお見舞いを頂戴し、誠にありがとうございました。

その大地震・大津波の影響で、3月、4月の役員会も開催できず、しかし、復旧復興の目途さえ立たない今、できる範囲でやりましょうと、5月末日やっと役員会を実施。例年6月の総会は10月に延期し、午後の社会活動は、結城紬(昨年世界遺産に登録)の藍染め、織り等の体験を計画致しました。



茨城支部の皆様

## 栃木支部 加藤通子(昭42短国卒)

### 福島にエールを込め、大内宿で開催

栃木支部では毎年県内の文化遺産や古い歴史の町に総会場所を移し支部総会を開いています。総会終了後、町の散策や歴史、美術館等の文化に触れ見識を広め、親睦を深めてきました。

今年の総会は震災や原発の被害が大きい福島県

にエールを込めまして、江戸時代に会津西街道の宿場町として栄えた大内宿で10月16日(日)に開催する予定です。

一人でも多くの皆様のご参加をお待ちしております。

## 千葉支部 福村和子(昭32短被卒)

### 無事に総会が開かれたことに感謝!

東日本大震災の被害を広域に受けた千葉県。依然予期せぬ事態が続いていた5月15日に第8回実践桜会千葉支部総会が催されました。学長代理兼講演者の生活科学部部長大久保洋子先生、桜会本部より飯尾美甫様、熊切富子家政科会会長にご出席頂きました。

秋には恒例の留学生との交流会を開きます。また、近づく10周年に向けて名簿整理に取りかかります。9ブロックネットワークでは、会員皆様の参加を呼びかけています。



5月15日の支部総会にて

## 山梨支部 石川泰子(昭41大被卒)

### 大震災に支援物資、燃料代カンパ等を行う

東日本大震災の被災地の方々にお見舞い申し上げます。山梨県全体で被災者の方々を980余名受け入れました。現在は各地域の家に定住し家族単位での生活基盤をスタートさせています。支援の輪が広まり若者達は土日に現地入りし活動しています。当会員も個々に支援物資の提供やボランティアへのガソリン代資金協力などを行っています。山梨は震度5強の所でも被害が少なかったので被災地の方々への支援が根付いています。

山梨では総会を9月初旬に実施予定で準備しています。研修会も様々な内容希望がありますので、役員会で検討する予定です。



ラベンダー匂い袋を前に (撮影：中村和子)

### 三重支部 竹腰葵 (昭44大英卒)

#### ご住職の辛口な講演に心を寄せて

6月19日(日)に雨の合間の青空に恵まれながら「実践桜会三重支部・平成23年度総会」を開きました。

事業、会計報告の後「樂山居」さんの中華料理を楽しみながら、1年ぶりにお会いする同窓の友と和やかな懇親会となりました。

古典文学者であり、最覚寺の御住職であられる富永妙子氏の講演は辛口でありながら、人間の温かさにあふれ、心を寄せてしまった私共でした。

来年の総会は、平成24年6月24日(日)と決まりました。初めての方も一度、ご出席くださいませ。お待ち申し上げます。

### 関西支部 今泉恭子 (昭48大英卒)

#### 今年の総会は10月、京都で開催予定

前支部長荻原登美子様が退任され、支部長を引き継ぐことになりました。

関西支部は毎年10月に総会・親睦会・講演会を開催しています。理事長様にご出席頂き和やかに楽しいひと時を過ごしております。

兵庫・大阪・奈良・京都・滋賀・和歌山にお住まいの方で、まだご参加の無い方は是非一度お出かけください。

今年は京都で実施致します。

ご連絡を心よりお待ちしております。

日時：10月14日(金)11時30分より  
会場：ザ・ガーデン・オリエンタル京都  
講演会：ミニコンサート(弦楽四重奏)  
連絡先：今泉恭子 077-532-3440

### 岡山支部 谷本淑恵 (昭54大英卒)

#### 貸切バスで広島へ、花も団子も堪能

昨年、支部発足10年を迎え、気持ちも新たに迎えた今年度は、数年前より、広島県福山市在住の新入会員が増えたので、今回は広島へLet's Go!!

岡山から貸し切りバスで遠足気分♪

着いた先は、瀬戸内海を望む絶景地に建てられたスタイリッシュなホテル。

初回からずうっと続いた晴天は、11回目も裏切りません。四国まで望めそうなほどの澄み切った青空。思わず深呼吸してしまいます。

地元産のこだわり食材で、丁寧に、お洒落に作られたイタリアンは、「女子会」にぴったり!

帰りに、桜の名所、福山城に立ち寄り、満開の桜を楽しみました。

「花より団子」と言いますが、花も団子も堪能した一日でした。



瀬戸内海を背景に記念撮影

### 愛媛支部 城徳かをる (昭41短生卒)

#### 地産地消の郷土料理を皆で囲み

平成22年度の愛媛支部総会は、松山市道後にて10月24日に開催いたしました。地産地消での郷土料理を皆で囲み、楽しい、ひと時を過ごしました。

総会の数日前に偶然出会った、若い同窓生が初めて参加して下さったり、桜会が気になりながら



松山市道後にて

今まで参加できなかった方が参加してくださり、若い方々の学生時代の思い出話で盛り上がり、楽しい有意義な一日だったようです。

そして、平成23年10月30日(日)に同窓生の御親戚の「にぎたづ庵」にて開催をお願いして、再会の御約束をして解散いたしました。

### 長崎支部 仮屋園秀子(昭34家食卒)

#### 3人だけの最寄りの会。 頭を突き合わせ3時間余のひととき

長崎の街の今は、紫陽花が色鮮やかに競い合い修学旅行で来崎の小中学生達は、市内地図を片手に、電車の中での会話も賑やかなこの頃となりました。

4月26日支部で一番の大先輩、松永ミサエ会員(91歳昭和14年家政卒)と佐世保市の本多南枝会員(昭和18年家卒)と長崎から仮屋園の二人です。

松永先輩とは私も何年ぶりかでお会いするわけで、お目にかかるまでずっと緊張しておりました。3人だけの最寄りの会、頭を突き合わせるようにして、学生時代の写真のこと、ご夫婦の趣味の俳句の色紙等のお話で、思わず3時間も過ぎていました。本年度の予定は次の通りです。

〈平成23年度総会予定〉

テーマ：長崎伝統料理講習会

日時：2011年11月20日(日) 11:00~13:00

講師：脇山寿子先生(脇山料理学校校長)

会場：脇山料理学校(長崎市樺島町7-9-301)

TEL：095-820-3666)

料理：豪華長崎雑煮と伝統料理一品

会費：¥1,000

どうぞご家族の皆様もお誘い下さいませ。

連絡先：仮屋園秀子(095-824-3894)

### 英国支部 松嶋みどり(昭49大被卒)

#### バザー出展に英国らしい小さなギフト

桜会英国支部が発足してから3年がたちました。初めは会員を集めることと親睦を図ることで精一杯でした。名簿には10の方がいらっしゃいます。が毎回参加できる方は5人ほどです。

今年は何か日本に向けてできることはないかと考え、英国らしい小さなギフトをバザー用にお持ちしましたが、売れるかどうか心配しております。

もう一つ計画していることは、桜会の援助を頂いて日本刺繍の無料講習会を行おうと考えています。

写真は4月にハイドパークで行われた支部会の様子です。一人先にお帰りになったので4人になってしまいました。



ハイドパークにて

### 埼玉支部 小河原俊子(平4院食修)

#### 支部活動第15回記念講演を行う

支部活動第15回を記念して郷土史家鈴木忍氏による講演「彩の国の偉人 荻野吟子」を、6月25日に行いました。

また10月4日には、彩の国めぐり—平林寺と野火止用水—を行います。

連絡先：小河原俊子(0495-22-5537)

## 協力団体 科会だより

### 実践ときわ会

23年度総会を4月27日(水)日比谷公園の「松本楼」で開催いたしました。大震災の影響で開催が危ぶまれましたが、25名の出席を得て、新年度をスタートさせることが出来ました。急なお話でしたが、会員の渡辺美佐子さんの舞台「鳥瞰図」を拝見することができ、元気なお姿と美佐子さんを囲んでの楽しい一時に新たなパワーをいただきました。

今年度も桜会の歌舞伎観劇会に合わせて講演会を行いますので、是非ご出席下さいませようお願い致します。

- ・歌舞伎講演会「歌舞伎面白づくし」  
講師：織田紘二先生  
日時：12月17日(土) 13:30 予定  
会場：学園会議室(予定)

●連絡先：TEL & FAX 045-981-9451 藤島栄子

### 実践芸芸科会

2011年度総会を、4月26日品川プリンスホテルで開催し、会場に各教室の作品展示をし、1時からの懇親会を楽しみました。

- ・会報「芸芸科会だより」43号 7月26日発行
- ・バザー手作り品の製作 6月27日
- ・秋季旅行 11月10日～11日(西伊豆方面)

☆定期講習会(会場——いずれも桜会会館)

- ・ハーダンガー刺繍教室 第2木曜日
- ・染色(楓会) 第2火曜日
- ・編物の会 第3金曜日
- ・日本刺繍(萌黄会) 第1木曜日  
第3木曜日

●連絡先：TEL & FAX 03-3307-6472 中岡久恵

### 実践被服科会

被災された同窓生の皆様に心よりお見舞い申し上げます。4月16日(土)の総会・創立20年記念パーティーは東日本大震災による諸事情を考慮し、紙上総会といたしました。

お陰様で創立20年を迎えました。今後ともご支援よろしくお願いいたします。

平成23年度の予定は以下の通りです。

1. <歌舞伎鑑賞教室とランチ>終了しました。  
7月6日(水) 国立大劇場で鑑賞
2. <オープンダイア型ペンダント製作>終了しました。  
9月27日(火) 講師：中岡久恵氏(昭和17年専門芸芸科卒)
3. 創立20年記念講演会<日本の絞り>  
日時：11月30日(水)  
場所：横浜ワールドポーターズ  
講師：安藤宏子氏(昭和39年大学被服学科卒)  
染色作家・絞り染研究家  
★記念講演会の申し込み：西向みち子  
Tel/Fax: 045-973-7116

4. 会報誌発行  
「歌ごろもニュースNo.15」6月1日(水)発行しました。  
「歌ごろも20年記念号」12月1日(木)発行予定

●連絡先：TEL & FAX 03-3758-2977 佐藤由紀子

### 実践家政科会

家政科会51回の総会に続き若い音楽家支援の為にコンサートを行い、今年も若い方達の応援活動をしてまいります。

- ・8/21 アオヤマ「ウラク」にてフランス料理講習会  
若い料理研修者5名招待
- ・9/28 桜会会館2Fにて障害者作業用エプロン縫製  
10:30~15:00
- ・10/12 崎陽軒工場見学  
戸塚崎陽軒にて会食後、三溪園散策
- ・12/15 歳末助け合いに寄付
- ・平成24年 1/18 正午 新年会  
於：ハイアットリージェンシー

●連絡先：TEL & FAX 045-571-0213 熊切富子

### 実践国文科会

4月の総会では宮沢賢治の作品群を通して「生きる責務について」と題し、栗原敦先生(実践女子大学教授)のお話を伺いました。平凡に生きる者達のそれぞれの場での働きの責めについて犠牲と献身という点から深い精神性のこめられた奥深さを教えられました。

- ・6月3日 三国路を辿り謝野晶子紀行文学館見学
- ・6月10日 東日本大震災で避難所生活を強いられている方々、特に同窓生の方に向け義援金・物資等お送りしました。  
<後期行事予定>
- ・7月国文科会誌「りんどう」36号発行しました。
- ・11月4日(金)～5日(土)秋の京都一泊旅行  
特別公開の冷泉家時雨亭文庫見学と糺の森下鴨神社・西行庵・三十三間堂を巡ります。  
決められた日だけ許された見学会に多くの方のご参加お待ちしております。
- ・新年会…平成24年1月29日(日)  
会場：KKRホテル東京(地下鉄東西線 竹橋駅直結)

●連絡先：TEL & FAX 03-3304-3831 加瀬和子

### 実践英文科会

6月12日(日)第35回総会を開催。

柗津都子氏(財団法人アジア国際支援財団理事・本学短英卒)に「飢餓なき世界を夢見て」と題して講演して頂きました。青少年の育成・地球子供会議・途上国へのスタディーツアー等の活動の様子をビデオで見ながらお話を伺いました。

- ・常設勉強会(会場：桜会会館)  
輪読会A：第2・第4金曜日 10:30～12:30  
輪読会B：第1・第3金曜日 10:30～12:30
- ・会報誌「英文科会だより2011」9月発行
- ・見学会：11月17日(木)  
「マリーヌルージュ」に乗ってランチクルーズ  
(横浜山下公園から)
- ・新年会：平成24年1月22日(日)  
会場「ウラク」(外苑前)

●連絡先：TEL & FAX 03-3330-5834 永井和子

## 特集

# 向田邦子さん没後 30 年に寄せて

NHK 出版 放送関連図書編集部

編集主幹 一井久司さん

1981 年（昭和 56 年）8 月 22 日、台湾で取材旅行中の向田さんが不慮の航空機事故で帰らぬ人となってから 30 年が経ちました。今となってはあつという間の月日でしたが、ちょうど 30 年前、私は NHK に入局して 4 年目のまだ新人と言っていいディレクターでした。当時、私は、ドラマの制作、とくに演出を志望しており、いつか向田作品を手がけてみたいと思っていました。そんな矢先の悲報だったのです。かなり愕然とした事を記憶していますが、その後、希望がかなって、ドラマの制作現場で働くことになり、やがて、大先輩の深町幸男ディレクターと仕事を共にする機会が巡ってきたのです。深町さんと言えば、「あ・うん」、「父の詫び状」など向田さんとの絶妙なタッグでテレビドラマ不朽の名作を世に送り出した名演出家の一人です。深町さんとは、演出助手をやったり、共同演出をやらせてもらったりと、私のドラマ生活の中で、多くの教を請いお世話になった得がたい思い出があります。しかし、その深町さんとは、残念ながら、めぐり合わせの関係で、一緒に向田作品に携わることはできませんでした。しかし、その後、深町さんや、久世光彦さんの映像化した向田作品を目にするにつけ、やはり、どうしても後悔の念を禁じえなかったのです。

そうして月日が経ち、私が、NHK のドラマ現場から離れて、NHK 出版で仕事をするようになり、そこで再び、向田さんとの遭遇があったのです。そしてそれは、向田作品の映像化ではなく、向田さんに関わるエッセイの出版化の仕事だったのです。このエッセイの著者は、佐怒賀三夫さん。新聞記者から放送評論家へと転身され、長きにわたって、テレビドラマを中心に番組

を鋭い観察眼で見つめ続け、番組制作者達とは、あるときは味方になり、あるときは、好敵手となりつつ、テレビ番組をけん制し、進化させてきた方です。また、佐怒賀さんは、向田さん亡き後、優れたドラマ脚本に与えられる向田邦子賞の設立にも尽力されてきました。

そんな佐怒賀さんは、その著書「向田邦子のかくれんぼ」（6 月 28 日発売）の中で、私はもとより、多くの方たちが魅せられ、今風に言うとハマってしまった向田作品の、これまであまり語られなかった魅力の原点について、語り尽くしています。

向田脚本、あるいは小説の特色については、さまざまな人達が、これまで分析をこころみてきましたが、かつて、向田ドラマを志してきた私にとって、これほどまでに腹の底におちるものはありませんでした。そして、「向田邦子のかくれんぼ」の表題の（かくれんぼ）の意味合いが、実は私たちが追い求めていた向田ワールドの底流に横たわるものではないか、と感じざるをえませんでした。

去る 7 月 11 日、「向田邦子のかくれんぼ」の出版記念パーティが開かれました。山田太一さん、早坂暁さん、市川森一さんら向田賞受賞のそうそうたる顔ぶれの作家のみなさんを始め、民放や NHK の番組制作者など多くの方々が久しぶりに一堂に会し、ちょっとした、放送同窓会の趣を呈しました。もちろんその中には、深町幸男さんのお元気そうな顔も見られました。きっと、天国の向田さんが、30 年という区切りのタイミングにあわせて、自分の良き理解者たちに、なつかしい再会の場をプレゼントしてくれたに違いありません。

### 〈割引販売のお知らせ〉

この度ご紹介させていただきました『向田邦子のかくれんぼ』

佐怒賀三夫 著

定価 1,365 円（本体 1,300 円）を、実践協会会員の皆様に、“定価の 10%割引及び送料無料”にて、ご自宅までお届けさせていただきます。ぜひこの機会に、下記まで、お電話にてお申込みください。（お手数ですが、お申込みの際には必ず“実践協会会員”である旨をオペレーターにお伝えください）

**NHK 出版 お客様注文センター**

**TEL : 0570-000-321**（ナビダイヤル）

※ 受付は土・日・祝日を除く 9:30 ~ 17:30 一部の IP 電話や PHS などでは上記の番号につながらない場合は、048-480-4030 におかけください。



一井久司さん 略歴

1978 年 NHK 入局。  
ドキュメンタリー等の制作を経て、その後約 30 年間ドラマの演出家・プロデューサーとして、数多くの番組を制作する。主な演出作品は、大河ドラマ「武田信玄」「春日局」など。プロデューサー作品は、朝ドラ「すずらん」「芋たこなんきん」大河ドラマ「武蔵」など。現在、NHK 出版編集局在職。



# 『欧米女子高等教育視察の軌跡から』

実践女子大学文学部英文学科教授 大関 啓子

昨秋、桜会の皆様に、学祖下田歌子先生の英国女子高等教育視察について、お話する機会を頂きました。

中学から大学院まで、私はいわば「実践育ち」ですが、中世英文学という下田先生とはかけ離れた研究をしております。1991～92年にケンブリッジ大学英文学科の客員研究員として英国で在外研究中、下田先生直筆の一通の英文書簡と偶然出会いました。その手紙の発見が、それまで全く知られていなかった下田先生の欧米における2年間の足跡と生活を明らかにする鍵になったのです。

1893年9月横浜を船で発ち、1895年8月帰朝するまでの約2年間、下田先生はロンドンを拠点に、欧州諸国の女子教育を視察しています。さらに帰路は米国でその実情を目の当たりにしました。しかしヴィクトリア女王の謁見と寄宿先のゴードン夫人との交流以外、肝心の視察については長い間明らかにされませんでした。それは下田先生が人名や訪問校などの固有名詞を敢えて記さなかったためと考えられます。

当時欧米では、「理性ある女子高等教育」実現の動きが活発になり、書簡はその中心人物ともいえるドロシア・ビール女史宛でした。女性に男性と等しく学問の機会を与えることを、長い間許さなかった英国で、チェルトナム・レディーズ・コレッジを中心に、理性ある女子高等教育実現を目指したビール校長の活躍は、現在でもパイオニアとして語り継がれています。

1895年5月、その夢の舞台を訪問した下田先生は、ビール校長の真心と誠実に接し、心を打たれ、教育者としての理想の姿を見ます。ビール校長は学校経営に至るまで親身に教え、多くの資料を提供しました。

下田先生は「チェルトナムの女学校の校長」として、深い崇敬の念を度々記しています。この後、ビール校長は、よき紹介者となり、下田先生の他校訪問視察の多くの機会をつくりました。



2011年1月22日付スコットランド紙に掲載された下田先生のセント・レオナード校への1895年の訪問視察



ビール校長宛下田先生直筆英文書簡  
(チェルトナム・レディーズ・コレッジ所蔵)

昨年8月にスコットランドからロンドンに至る10校を訪問調査し、下田先生の足跡をそのうち7校に確認しました。いずれも由緒ある名門校として、現在でも女子校あるいは共学校となっています。それぞれの学校で学長はじめ多くのスタッフが、誇りと理想に目を輝かせ、116年前の日本女性の訪問視察の縁を重視し、調査協力を惜しみませんでした。3月11日の震災後には、各校から「実践は大丈夫か？」とのお見舞いのメールを頂き、下田先生以来の強い絆を今後も大切にしたいと思いました。

こうした欧米の教育視察を通して、下田先生には大きな変化が見られます。明治天皇の内親王のご用掛のための視察という当初の目的から、庶民の女性教育へと目を向け、多様性を受け入れる姿勢を示します。帰国後、西洋風をそのまま真似るのではなく、明治日本の実情に合わせ、実学を目指しました。それは、実践女学校開設の際の『帝国婦人協会設立趣旨』にある、「地位資格を問はず、下層婦人の徳を高め、智を進める」「実学」等の言葉に表されています。

先生ご自身が幼い頃から生涯、経験し続けた女性として狭められた道を、後に続く者たちのためにより大きく開かれるよう力を尽くされました。性別だけでなく、民族・国籍・年齢・身分・職業などによる、あらゆる差別をなくすこと、そのための教育に生涯を捧げられたのです。

下田先生は死の一週間前に次の歌を遺しています。

まよひなき正しき道は 見ず聞かずいわず  
むなしき空にみちたり

(平成22年10月2日実践女子学園渋谷校舎にて)

大関 啓子 (実践女子大学文学部教授) プロフィール  
中学校から大学院修士課程まで実践を卒業。その後、学習院大学大学院博士後期課程を経て、ケンブリッジ大学客員研究員。現在、実践女子大学文学部英文学科教授(英文学担当)、実践女子学園生涯学習センター長。実践女子学園下田歌子研究所所長。東京都日野市社会教育委員。国際チャーター学会および日本中世英語英文学会会員。著書『中世英国ロマンス文学—ケルト逍遙』他。

## 実践桜会 国際交流基金奨学生

### 実践桜会国際交流基金事業報告

4月1日からホームページで一般公募すると共に、昨年度応募者のあった各大学にも募集依頼をしました。

選考委員会は各役員選出母体から推薦された5名、理事長、常任理事5名、計11名で構成されます。

今年度は、応募者111名(13大学院・10大学、8カ国)でした。6月10日の第一次選考委員会(書類選考)と6月26日の第二次選考委員会(面接選考)で留学生6名が奨学生に選出されました。

今年度も奨学生との交流会を2回開催いたします。第1回は10月1日に行います。第2回は来年3月10日の予定です。参加ご希望の方は桜会会館にお申し込みください。

(給付額は1名につき年間36万円です。)



臧 子芸 (ゾウ シゲイ)  
中華人民共和国  
東京外国語大学 大学院  
総合国際学研究科  
言語応用専攻 (日本語教育)

中国の大学で4年間日本語を専攻しました。教師である母の影響もあり、日本語教師を目指して、2008年日本へ来ました。卒業後は中国へ帰り、博士として進学して、大学の日本語教師になりたいと思います。



具 香 (グ コウ)  
中華人民共和国  
二松学舎大学 大学院  
文学研究科 国文学専攻  
博士課程

私は自分の夢を実現するために、日本に留学しました。夢といえば将来中国の大学現場で、日本語教育事業にたずさわることです。現在は、「中島敦の山月記」について研究しています。



巴 天星 (ハ テンセイ)  
中華人民共和国  
東京工業大学 大学院  
国際開発工学専攻

私が日本に来た理由は主に2つあります。一つ目は日本の文化や環境などに強く魅力を感じ、興味を持っていること。二つ目はもっと高いレベルの教育を先進国の日本で受け、将来はその学んだ知識を活かして中国の都市建設に貢献することです。



李 和貞 (イ ファジョン)  
大韓民国  
東京学芸大学 大学院  
教育学研究科  
総合教育開発専攻

ソウル市立大学を卒業し、姉妹校であった東京学芸大学に入学することになりました。専門である歴史についてもっと深く、特に両国の交流史について研究したいと思っています。両国の友好に役立ちたいと思います。



全 愛花 (ゼン アイカ)  
中華人民共和国  
東京大学 大学院  
農学生命科学研究科

土壌微生物に関して研究しています。東京大学の研究レベルは世界でも認めているのでここで自分を磨くと間違いなく立派に成長すると思っ、日本への留学を決心しました。すべての研究が修了後母国へ帰り、学んだ知識を生かして、農業に貢献したいと思っています。



金 敏貞 (キム ミンジョン)  
大韓民国  
東京学芸大学 大学院  
国語教育専攻  
日本語教育コース

日本語教師として1年間勤めましたが、日本語教育について深く研究したいと思って修士課程に進学しました。テキストに限らず、漫画やアニメのような映像教材を用いた日本語教育方法を研究し、将来授業で行ってみたいと思います。

## 「実践キャリアネット」からのお知らせ

「実践キャリアネット」は、この度8周年を迎えました。皆様のご支援、ご協力によるものと感謝申し上げます。これからも「仕事」をキーワードとし、世代を超えた仲間とキャリアアップのための勉強会、在学生の就職に向けてのアドバイス等、同窓生の交流の場として、より充実した「キャリアネット」を目指してまいります。是非、一度セミナー等に参加してみませんか。お待ちしております。

### 〈2011年度の活動〉

#### ◎キャリアネット総会后、8周年記念講演会を開催



講師：三宅恵介氏 (株)フジテレビジョン エグゼクティブディレクター  
テーマ：「生涯現役！ 女性と仕事」  
日時：6月18日(土) (於：桜会会館2階)  
\*講演会終了後の懇親会では三宅氏を交えて楽しいひとときを過ごしました。

#### ◎セミナー等 開催予定 (最新情報はHPをご覧ください <http://www.j-sakura.org>)

- ・在学生向け就職相談会 10月15日(土) (於：日野大学校舎内)  
「ようこそ先輩 ようこそ後輩 “働く”を話そう」
- ・第1回セミナー 11月19日(土) (於：桜会会館2階) フードコーディネーター 青木 敦子氏
- ・第2回セミナー 2月18日(土) 講師・テーマ・場所未定  
\*各セミナー終了後、会員相互の懇親会を催します。

#### ◎卒業生のための就職相談会

- ・毎月第4土曜日 (於：桜会会館) にキャリアカウンセラーが親身になって再就職や就職のご相談に応じます。

#### <入会方法>

入会申し込みはいつでも桜会事務局へ (月～土 9:30～17:00 日曜、祝日を除く)

TEL: 03-3407-7459 FAX: 03-3499-0835 \*HPからも申し込みができます。 <http://www.j-sakura.org>  
[年会費] 2,000円 (入会金は不要) [振込先] みずほ銀行 渋谷中央支店 普通 1748354

## 本部だより

### ◆今後の桜会行事予定

#### ◎10月1日(土)

13:00～16:00 秋季委員会 (奨学生交流会)

#### ◎10月8日(土)

学祖祭護国寺墓参

\*当日は桜会会館に祭壇を設けますので、是非お参りしてください。

14:00～15:30 下田先生を偲び著作を読みます。

#### ◎12月3日(土)13:00 臨時総会

会場：実践女子学園中高校舎第3館5階会議室

#### ◎2012年5月13日(日)

平成24年度定時総会 会場：セルリアンタワー  
東急ホテル ボールルームB2

### ◆総務部

#### 地区懇談会報告

9月3日(土)12:45から郡山ビューホテルアネックスにて、東京フィルハーモニー交響楽団弦楽四重奏の演奏会、14:15から福島支部との懇談会。16:30から実践女子大学・短期大学後援会との合同懇親会を開催致しました。

### ◆文化部

#### ☆親睦会「三つの和を楽しむ」

～和食と和紙と人の和と～

日時：9月16日(金)11:00～15:30頃

集合：お茶の水 東京ガーデンパレス1F  
行程：つきじ植むら梅里、折り紙教室〈おりがみ会館〉

#### ☆実践桜会バザー開催のご案内

日時：10月29日(土)～30日(日)10:00～15:00

会場：桜会会館、実践女子学園中高校舎記念館ロビー  
全国各支部の特産品、科会・会員の皆様の手作り品などたくさんのお贈り品が並びます。会員の皆様お誘いあわせて是非ご来場下さいませ。

\*お贈り品の提供のお願い 受付…10月22日(土)まで

・鮮度を要する食品は10月26日(水)まで

・手作り品など1個からでも大歓迎です。

#### ☆初春歌舞伎観劇会

日時：2012年1月9日(月・祝日)

場所：国立劇場「三人吉三白白浪」等

松本幸四郎・市川染五郎ほか

### ◆財務部

#### 会費納入のお願い

一般社団法人教育文化振興実践桜会の運営・活動は皆さまの会費によって支えられています。会費未納の方は、**振込用紙**にてゆうちょ銀行及び桜会本部窓口でご納入願います。なお、振込用紙がない場合は桜会会館までご連絡ください。

TEL: 03-3407-7459 FAX: 03-3499-0835

## 同窓生は今

弁護士・ひのき総合  
法律事務所主宰

秋田瑞枝さん



**実践女子学園をなぜ選ばれたのですか。また、慶應の法学部に進学された訳は？**

家が実践のすぐ裏にあってね、小学校は常磐松小学校、中学・高校は実践で叔母も通ってました。ですから自然に実践に入学しました。私は本がとでも好きで、文学部に進もうと確か入学金も納めたのだけど、本が好きなことと文学部で学ぶことは違うと思ったことと、大学は外部に出たいと思い慶應の文学部と法学部を受けました。両方合格し、そこで、初めてどちらに入ろうか考え法学部を選びました。当時は進学データも今のようにはありませんし、将来こういう仕事に就きたいからと目標を設定して決めたわけでもないんです。司法試験は勉強はもちろん必要ですが、「実力と勢いと運」の3つが揃わないとだめですね。この3つがバランスよく働くことが大事だと思っています。

**弁護士としてのご苦労ややりがいほどのようなことですか？**

すでにパイオニア的存在の女性弁護士は居ましたが、当時はまだまだ女性の法律家は少なかったのです。内容も女性の間

6月11日土曜日の午後に港区虎ノ門1丁目にある「ひのき総合法律事務所」に秋田さんをお訪ねしました。昭和37年実践女子学園中学校、昭和40年実践女子学園高等学校を卒業後、慶應義塾大学法学部法律学科に進学。4年生在学中に司法試験第2次試験に合格し、司法修習生の2年間を過ごされた後、弁護士としての道を歩まれています。

題(離婚、雇用、労働など)を扱うことが多かったのですが、私は弁護士としてあまり女性問題に特化せず、広がりをもって様々な問題に携わるように意識してきました。女性弁護士に対する眼も男女雇用機会均等法が成立したあとからは少しずつ変わってきましたね。弁護士それぞれにやり方は違います。事務所にはクライアントの方々が来ますが、担当弁護士と合うかどうかということもあります。1件1件仕事を進める中で、予想外のことも起こってきますが自分の弱さも意識しながら、それにめげないように割り切っています。

**実践の後輩へのメッセージをお願い致します。**

実践の後輩の皆さんへのメッセージとしては、幅広く深く知識も実際の経験もあるといいですね。仕事をしていく上でもちろん法律の知識は必要ですが、あとはどのくらい総合的な学びや体験をしてきたかで決まりますね。トータルな知識と経験を身につけてください。司法試験は、例えばディズニーランドで入場券を買うようなものです。そして中に入って自分の目的とする楽しみや喜びを見つけようと思ったらまたそこに並ばなくてはなりません。どのイベントが早く入れそうか情報も沢

山得なくてはなりませんね。入場券を買うために外に並んでいたときには見えないけれど、中に入ったらどのイベントに行くか見通しも持たなくてはなりません。見えない中で勘を働かせ、予測力を高めて、選んでそこにダッシュしなければならいでしょう。ダッシュしてもそれが自分の思っていたものと違うこともあるわけでしょう。勘よく動かなければね。どの仕事も楽なものはないから苦労したらただ、よけいやってよかったなど思うでしょう。何でも興味を持ってやっていってください。

高校時代の思い出、悪戯のお話を懐かしそうにお話しいただき、弁護士としてのお仕事についても分かりやすくインタビューに応じてくださいました。

秋田さん、これからもお身体に気を付けて益々ご活躍ください。

秋田瑞枝さん

職歴

昭和54年4月港総合法律事務所(東京港区)開設、その後、秋田・戸取法律事務所(東京港区)開設、平成9年4月ひのき総合法律事務所開設。

職務歴

第二東京弁護士会常議員会副議長。

日弁連・第二東京弁護士会、各種委員会委員。

内閣府・情報公開・個人情報保護審査会委員。

国土省中央建設工事紛争審査委員会委員等を歴任。

## 学園だより

## ●「ホームカミングデー」のお知らせ

## ◆実践女子学園中学校高等学校(渋谷校舎)

日時:平成23年10月30日(日)  
9時~16時(ときわ祭開催中) 歓迎セレモニー・懇親会 14時~15時

会場:第3館5階会議室

問合せ先:実践女子学園

中学校高等学校事務室

住所:〒150-0011 渋谷区東1-1-11

TEL:03-3409-1771

## ◆実践女子大学・短期大学(日野・大学校舎) —常磐祭11月12日~13日—

日時:平成23年11月12日(土)

受付10時~(常磐祭開催中)

## プログラム

『『きらり うたこ』ができるまで—出版秘話—』

イベント:12:30~13:40

会場:本館4階441教室

対談者:

牧野 和子氏(『きらり うたこ』著者)

古藤 黎子氏(『きらり うたこ』編集・本学卒業生)

棚田 輝嘉氏(コーディネーター・文学部教授)

サイン会:13:40~14:10

(本館441教室ロビー)

※対談終了後、サイン会を行います。

『きらり うたこ』のまんが本を当日販売もいたしますが、お持ちの方はご持参ください。

懇親会:14:30~15:30

会場:香雪記念館2階会議室

問合せ先:実践女子学園総合企画室

住所:〒191-8510

日野市大坂上4-1-1

TEL:042-585-8804

※詳細は同封チラシをご覧ください。

## ●「源氏物語の転生—さまざまな形と姿をもとめて—」(展覧会)

開催期間:平成23年10月3日(月)~23日(日)

※土日祝閉館、但し10/10(祝)23日(日)は開館。

開催時間:11:00~16:00

開催場所:実践女子大学香雪記念資料館

※入場無料

照会先:文芸資料研究所

TEL:042-585-8880



土佐絵  
源氏物語  
第1帖

# 告知板

## 結婚相談室

相談日：毎月第2・第4土曜日 10:30～16:00  
(休室)：8月

12月第4土曜日

平成24年1月

会場：桜会会館(渋谷校舎隣接)

入会資格：本校卒業生及び卒業生のご紹介の  
心身共に健康な男女

入会金：2万円(その他書類代として1千円)

入会時にご用意頂くもの：

入会されるご本人自筆の履歴書、

写真3～5枚(本人のみ、スナップ可)

☆秘密厳守で評判の良い相談室です。

☆詳細は相談日にお問い合わせください。

連絡先：TEL 03-3407-7459 桜会会館

## ハーダンガー刺繍教室

前からの方、新しい方と夫々デザインも数多くなって、それが楽しみで作品が増えています。「今年に間に合うかしら」とクリスマスツリーのタペストリーを始められたグループもいらっしゃいました。出来上がりが楽しみです。



講習日：毎月第2木曜日 11:00～15:00

場所：桜会会館 2階

会費：¥1,300

講師：坪井初代先生(平成23年度1月より)

持参品：あれば先の切れる小鋏

材料：布・糸・針など教室で準備いたします

## 実践桜会囲碁教室

教室は原則として第2、第4の月曜日(午後1時～4時)、講師の柳川正興先生をお迎えして開催しています。始めの約40分間は囲碁の基本学習で、先生の講義と問題を皆で解きます。その後は対局で、実力を深めていきます。

卒業生の方だけでなく、ご家族・お知り合い(男性の方も)、また全く初めての方も歓迎いたします。

2011年10月から12年3月までの教室日程は、新会館への移転のため下記の予定です。

教室日程：10/17、10/31、11/14、11/28、12/12

新会館で2/13、2/27、3/12、3/26



対局の様子

## 貸室のご案内

クラス会、読書会、サークル活動や各種打ち合わせなどに、桜会会館をお気軽にご利用下さい。

- ・新会館へ移転のため、会員の皆様にはご迷惑をおかけしますが、会館使用期限は平成23年12月10日までとさせていただきます。
- ・新会館での貸室業務の開始は、平成24年2月1日からといたします。
- ・予約の申し込みは、桜会会館にお問い合わせ下さい。

## 【寄附者ご氏名】(敬称略)

中村悦子、学園 井原徹、大学・短大後援会、中高父母の会、和田会計事務所、若松幸子、熊切富子、串崎扶美子、中岡久恵、高松享子、佐野滋、吉田和代、理事有志、鍛島康子、その他寄附6件(寄附は随時受け付けております。)

## お見舞い

3月11日の東日本大震災から半年が過ぎました。いまだに余震が続き、原発の問題も未解決のままです。被害にあわれた同窓生の皆様、御家族の方々そして地域の皆様へ心よりお見舞いを申し上げます。

## 編集後記

思いがけず体調を崩す部員が続き、全員での広報活動とはいきませんでした。何とか発行することができました。お力添えして下さった皆様に感謝いたします。

\*\*\*広報部一同\*\*\*

編集・発行：一般社団法人教育文化振興 実践桜会

〒150-0011 東京都渋谷区東 1-1-15

TEL：03-3407-7459 FAX：03-3499-0835

HP：http://www.j-sakura.org

メール：jissen-sakura-koho@dance.ocn.ne.jp

編集発行人：鍛島康子

振込口座：東京 00190-0-23848

転居された場合はご連絡下さい。

印刷：ふそう美術印刷

ホームページに掲載する投稿記事や写真をお寄せください。広報部アドレス：jissen-sakura-koho@dance.ocn.ne.jp

**会費納入のお願い** 一般社団法人教育文化振興実践桜会は皆様の会費で運営されています。年会費2,000円の納入をよろしくお願いいたします。